



FIG株式会社（証券コード：4392）

決算説明資料

2026年12月期第1四半期

もっとワクワクして
未来がある。

- 01 | **会社紹介**
- 02 | **2026年12月期第1四半期決算概要**
- 03 | **事業のトピックス**

01 | 会社紹介



会社名 FIG株式会社 (Future Innovation Group, Inc.)

設立日 2018年7月2日 ※グループ前身のモバイルクリエイイト設立は2002年

代表者 代表取締役社長 村井 雄司

所在地 大分県大分市東大道二丁目5番60号

資本金 20億円

従業員数 734名 (2025年12月末現在連結)





モバイルクリエイイト

IoT・ペイメント

- ✓ IP無線システム
- ✓ 動態管理システム
- ✓ タクシー配車・バス運行管理
- ✓ ペイメントサービス



REALIZE

ロボット・オートメーション

- ✓ 半導体・自動車関連装置
- ✓ 金型・精密加工
- ✓ ロボット

KTS ケイティーエス

IoT (スマートホテル向け)

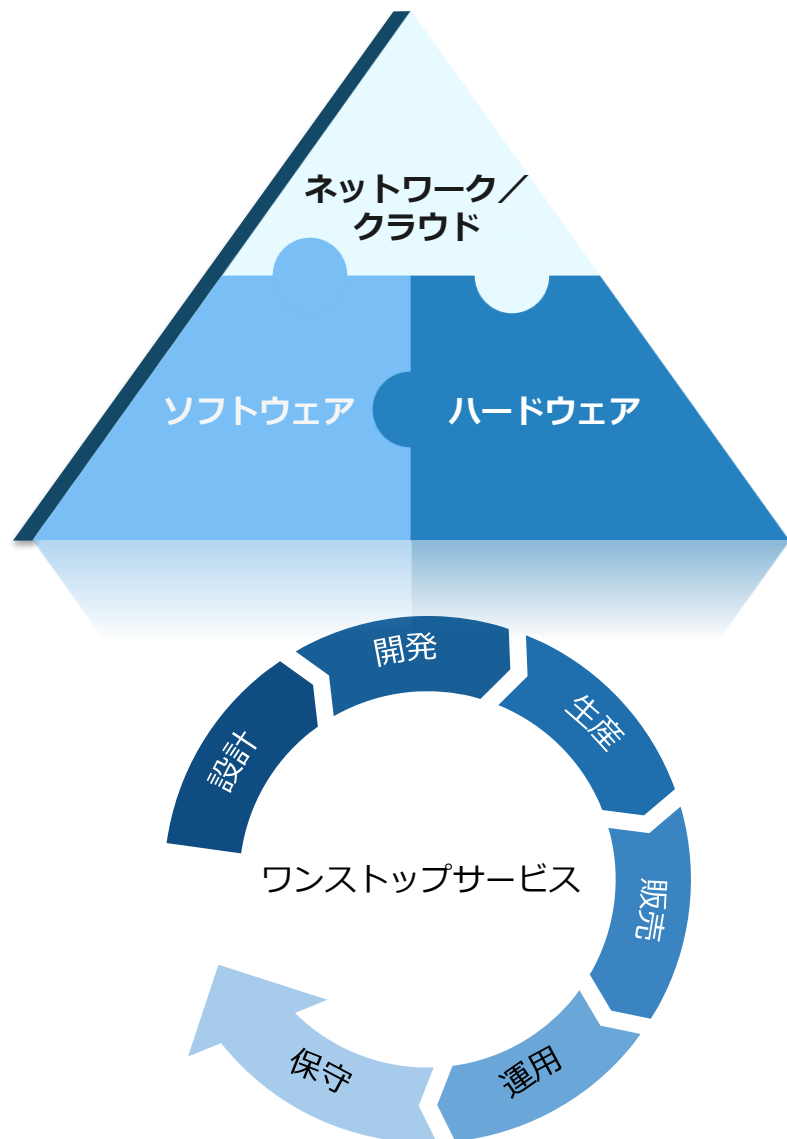
- ✓ マルチメディアシステム
- ✓ IoT基板製造



その他のグループ会社



- ✓ 物流システム
- ✓ ドローン
- ✓ 戦略開発基盤 (グループ開発特化)



ソフトウェア

ハードウェア

ネットワーク/
クラウド

ソフトウェア・ハードウェア・ネットワーク/クラウドを横断的に自社で開発・運用できる技術基盤と、現場実装を通じたワンストップ提供力が強み。

ソフトウェアとハードウェアを一体で設計・開発することで、用途や現場特性に最適化されたハードウェアを提供するとともに、ネットワーク/クラウド基盤により多様なサービスを安全かつ安定的に運用。

この3つの技術領域をカバーすることで、IoT・ペイメントといったサービス領域にとどまらず、ハードウェアであるロボット開発や上位システムとの連携など、オートメーション領域の事業拡大が可能。

02 | 2026年12月期第1四半期決算概要

タクシー・バス関連サービスが牽引し、業績は好調なスタート

■主要会社別

モバイルクリエイト（主力・牽引）

タクシーの配車・ペイメントに加え、バス関連サービスが堅調に推移。IP無線も寄与し、グループ業績を牽引。

REALIZE（成長領域）

前年からの業績は回復基調。搬送ロボット事業の拡大を進めるとともに、台湾企業との協業により、最先端AI半導体の検査工程に使用される自動化装置を開発。

ケイティーエス（再成長フェーズ）

足元では苦戦が続くものの、ホテル向けサービスの回復に向け営業体制を見直し、再成長に向けた基盤整備を推進。

■中期経営計画（2026年12月期～2028年12月期）の進捗

最終年度KPI（売上高170億円、売上総利益53億円、営業利益15億円、ROE10%、ROIC8%）の達成に向け、順調な立ち上がり。

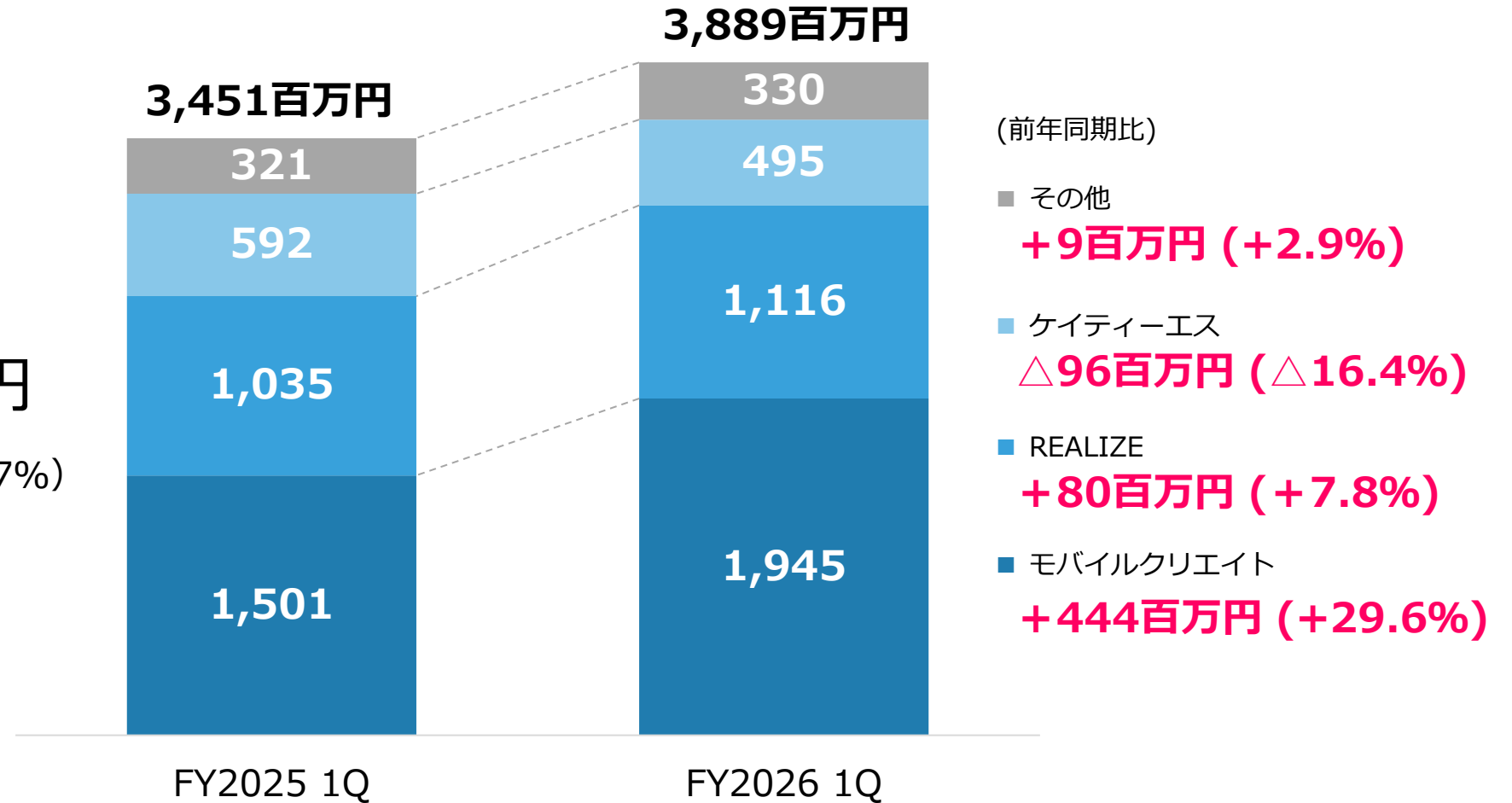
■中東情勢による事業への影響

現時点で直接的な影響は出ていないものの、今後の中東情勢の緊迫度が深刻化・長期化した場合など、動向を注視。

FY2026 1Q 売上高

38 億円

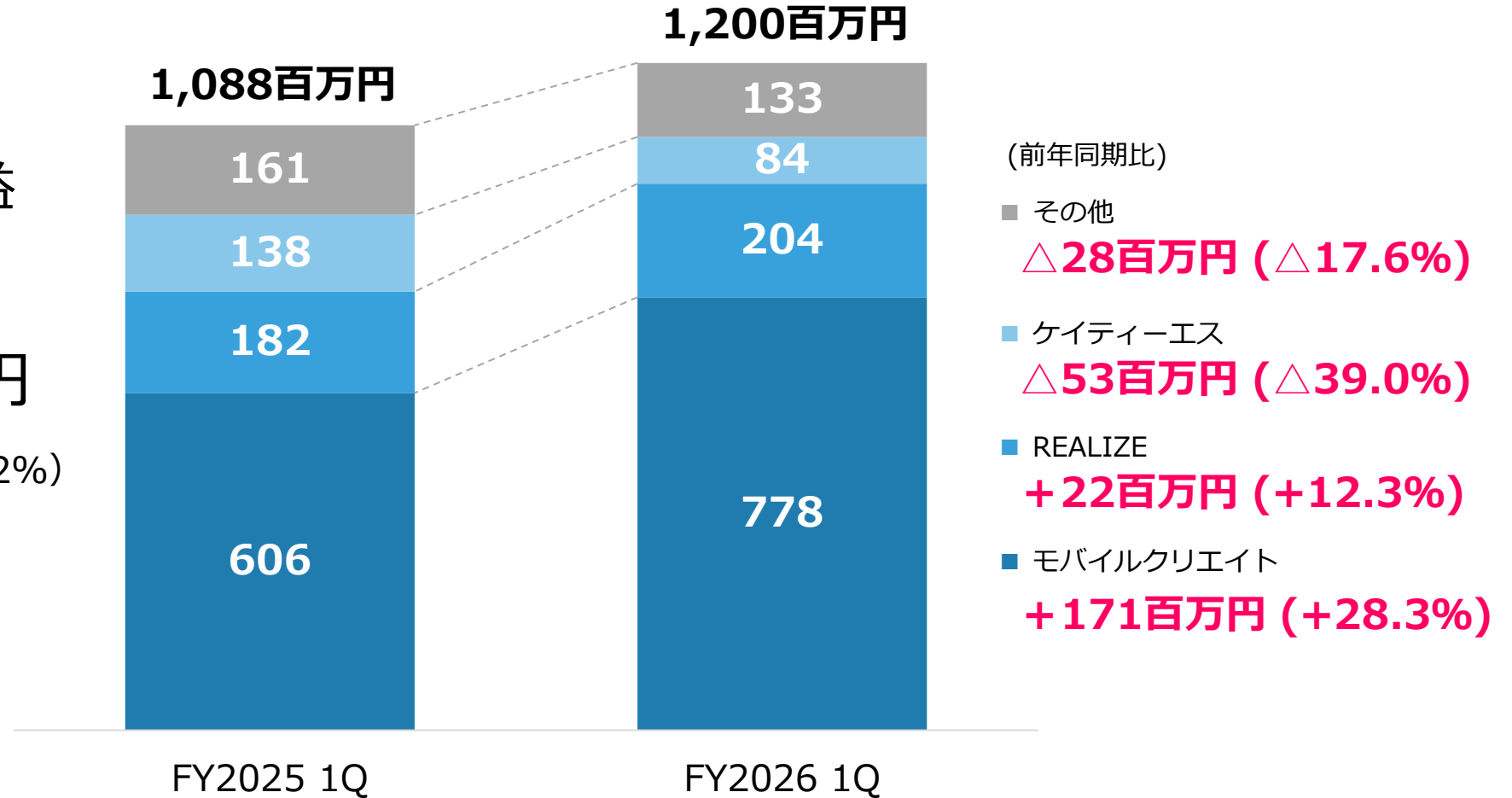
前年同期比：+437百万円 (+12.7%)



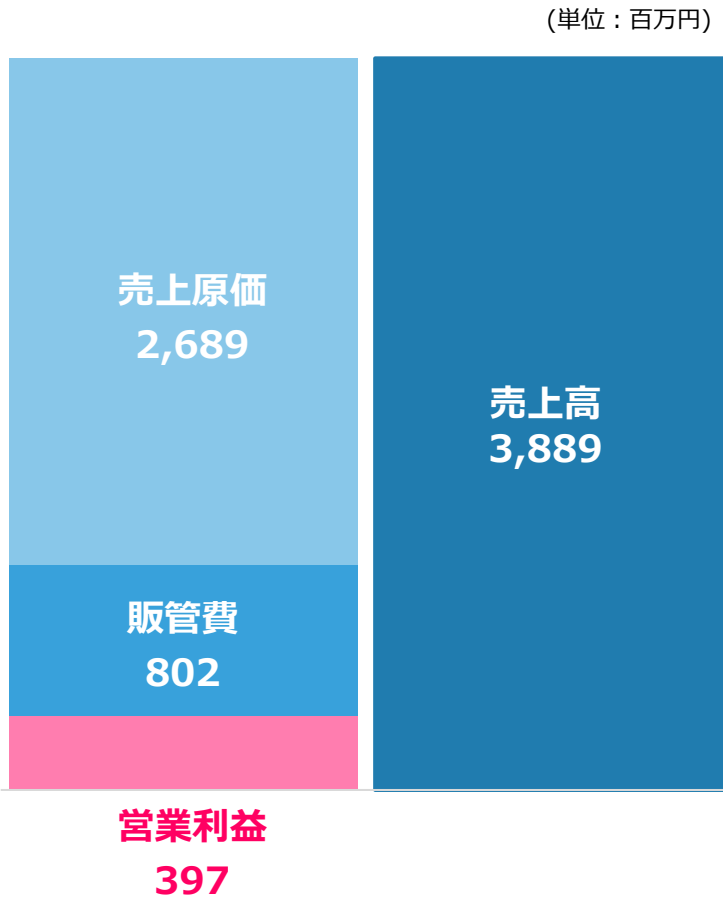
FY2026 1Q 売上総利益

12 億円

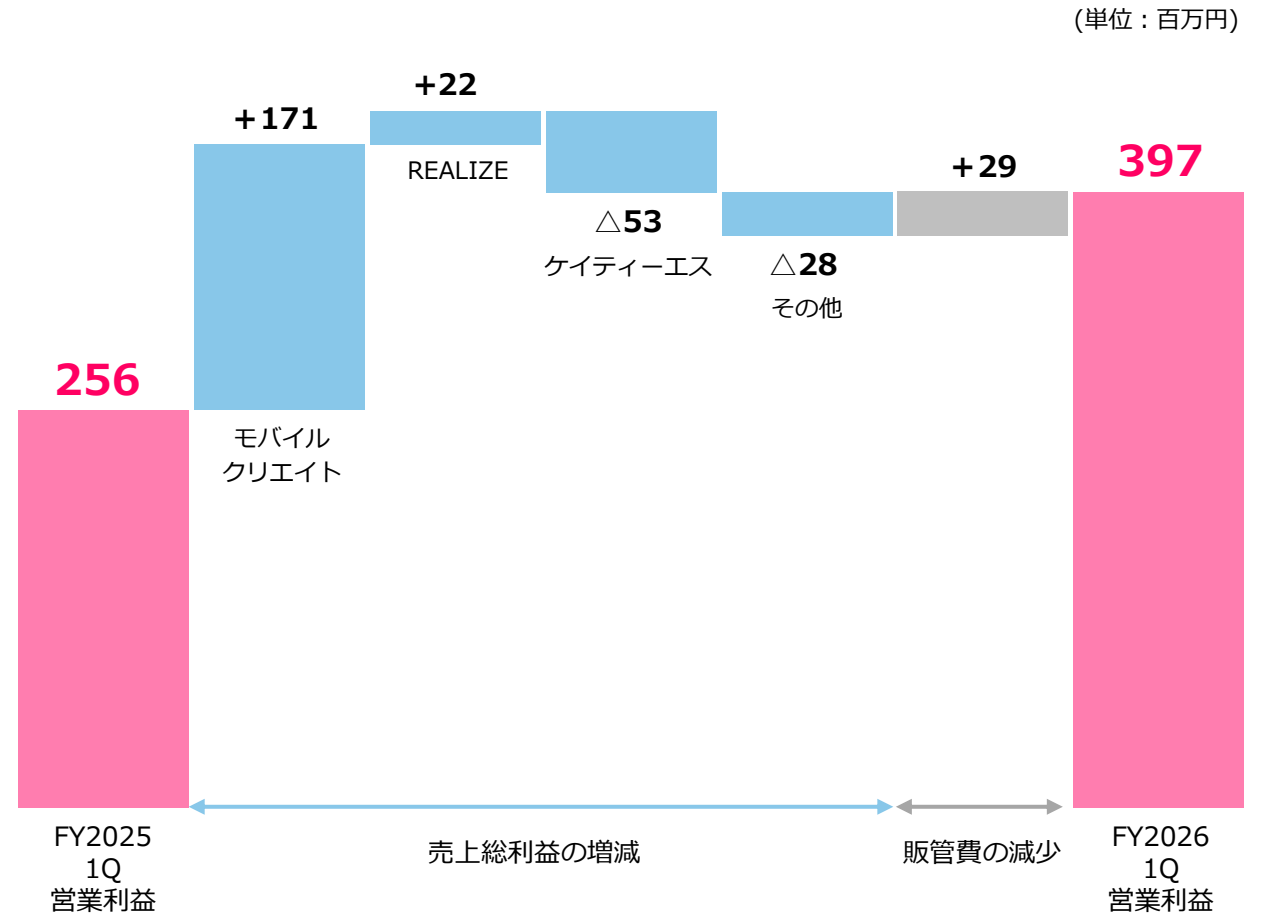
前年同期比：+111百万円 (+10.2%)



収益構造

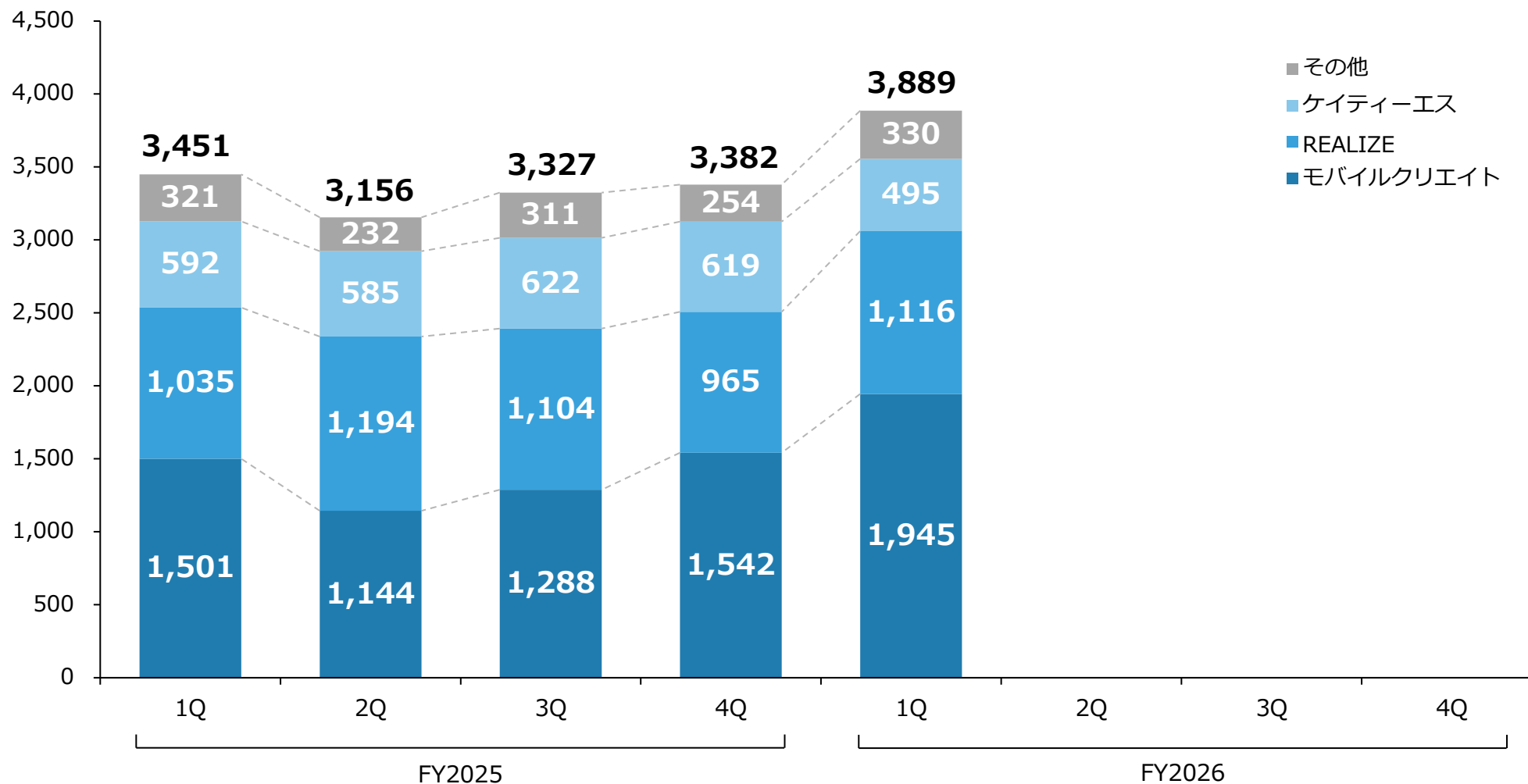


営業利益 **3.9** 億円
 前年同期比：+141百万円 (+55.0%)

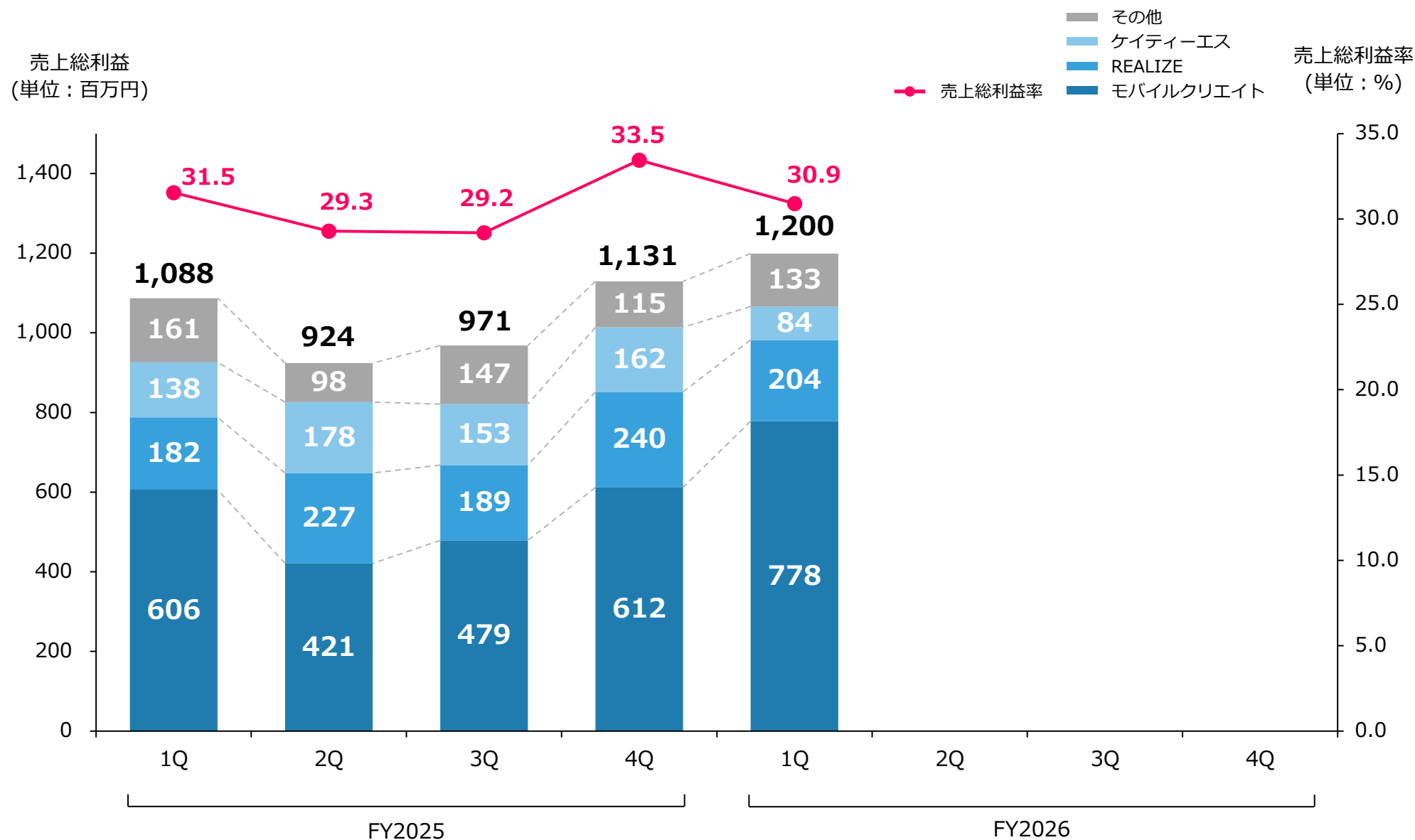


主要3社別 売上高 四半期推移

売上高
(単位：百万円)



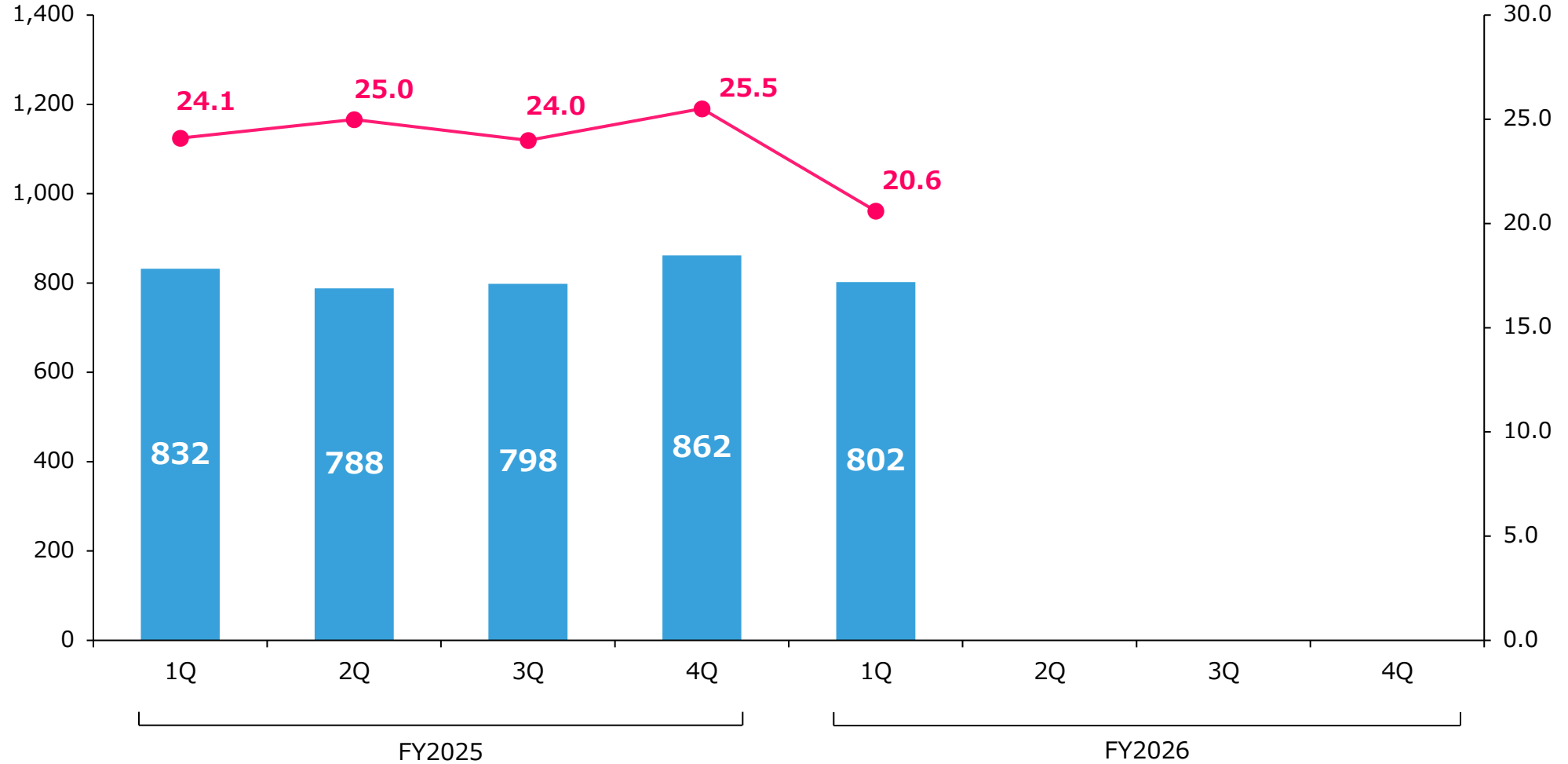
主要3社別 売上総利益 四半期推移



販管費
(単位：百万円)

■ 販管費
● 売上高販管費率

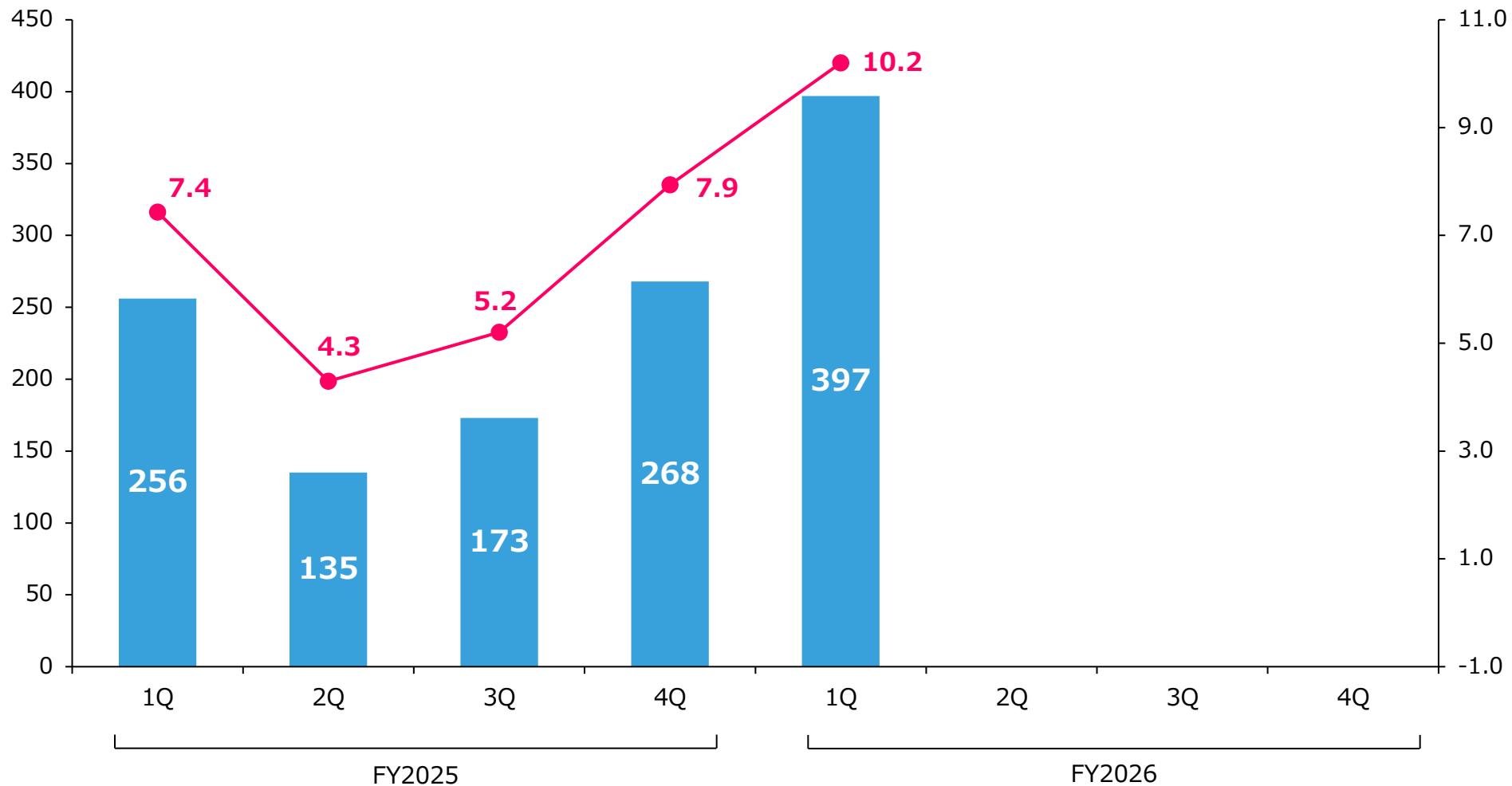
売上高販管費率
(単位：%)



営業利益
(単位：百万円)

営業利益
営業利益率

営業利益率
(単位：%)



連結損益計算書

(単位：百万円)

	FY2025 1Q実績	FY2026 1Q実績	前年同期比	通期計画	進捗率
売上高	3,451	3,889	+ 12.7%	14,000	27.8%
売上総利益	1,088	1,200	+ 10.2%	4,300	27.9%
販管費	832	802	△3.6%	—	—
営業利益	256	397	+ 55.0%	1,000	39.8%
経常利益	244	400	+ 63.4%	1,000	40.0%
最終利益	149	262	+ 76.2%	680	38.6%

※最終利益 = 親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益

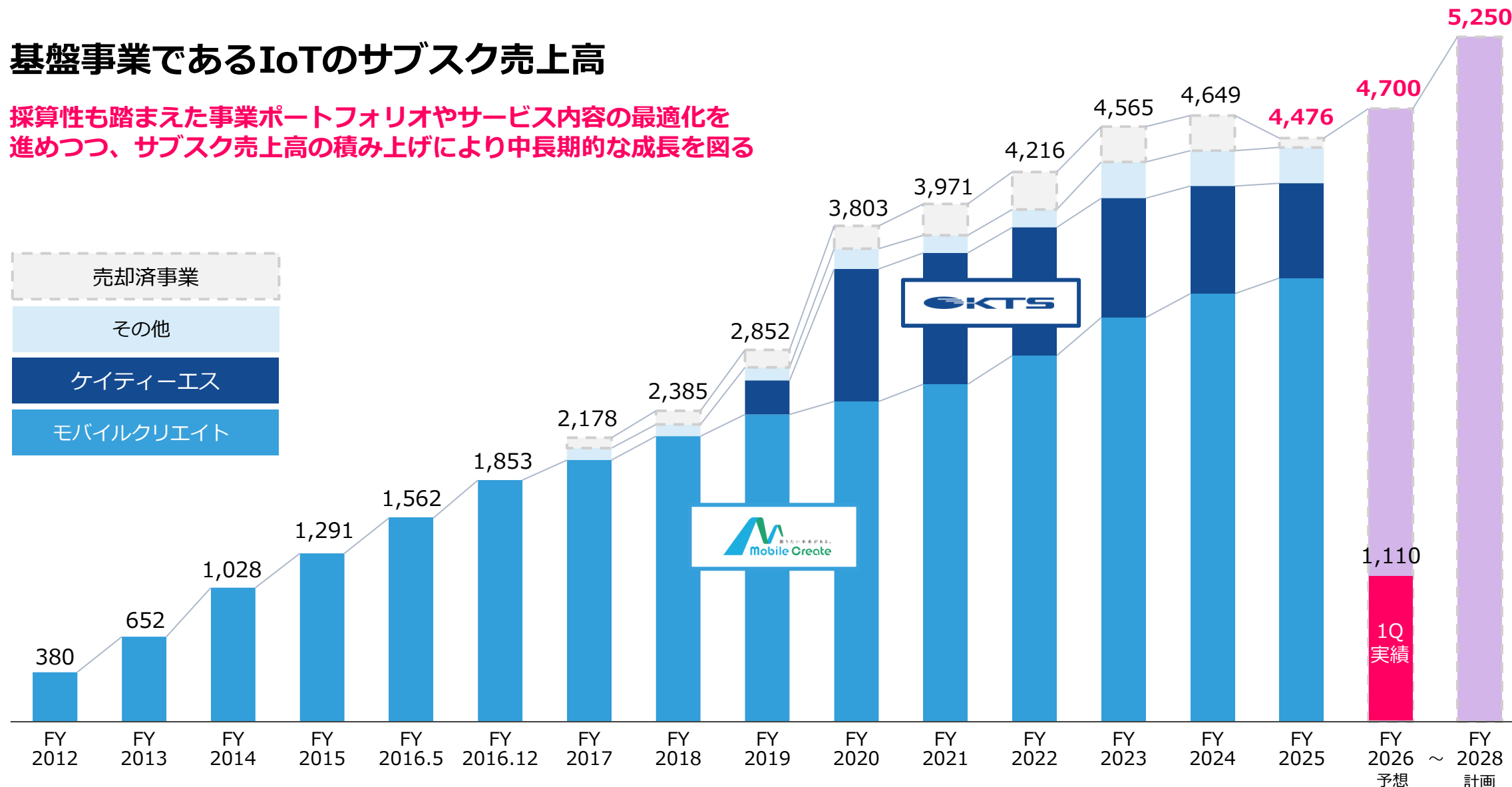
連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2025年12月31日	2026年3月31日	増減
現金預金	1,889	2,219	+329
その他流動資産	8,557	8,537	△19
固定資産	5,192	5,324	+131
資産合計	15,640	16,081	+441
有利子負債	3,303	3,275	△28
転換社債	500	500	—
その他負債	2,972	3,418	+445
負債	6,776	7,193	+417
純資産	8,863	8,887	+23
負債・純資産合計	15,640	16,081	+441
自己資本比率	55.8%	54.4%	

基盤事業であるIoTのサブスク売上高

採算性も踏まえた事業ポートフォリオやサービス内容の最適化を進めつつ、サブスク売上高の積み上げにより中長期的な成長を図る



※当社設立は2018年7月ですので、2018年6月までの実績はモバイルクリエイイト株式会社の連結実績で集計しております（2016年12月期は7ヶ月間のため、12ヶ月間に換算にて表示）

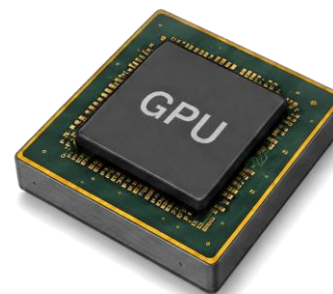
03 | 事業のトピックス

REALIZEの新規事業への挑戦（最先端AI半導体向け）

成長ドライバー
ロボット×海外協業



微細かつ高価な半導体パッケージ
の着脱を繰り返し行う自動化装置



- ✓ 高度な位置決め精度
- ✓ 安定した動作性能
- ✓ 長時間連続稼働に耐え得る高い信頼性

グローバル市場において
高いシェアを有する



米国企業の
AI向け半導体

に搭載されるGPUパッケージを
対象とした品質検査工程で使用



台湾企業

と共同で半導体先進
パッケージICテスト用
自動化装置を開発

ロボットを成長ドライバーとし、海外協業と既存事業の強みを
掛け合わせ先端半導体市場で新たな価値を創出

ヨコクラ病院で「WILL-SR」を活用した検体搬送の実証実験を実施

病院現場が抱える人手不足や業務負担の課題に対し、ロボット活用による省人化・業務効率化の可能性を検証

実証実験の概要



処置室

- ①病院スタッフが検体をWILL に搭載
- ②タッチパネルで同階の生理検査室前を指定



病院内通路

- ③人や障害物を検知しながら院内を走行



生理検査室前

- ④別の病院スタッフが検体を受け取り
- ⑤空容器を再びWILLに搭載して処置室へ返送

- ✓病院内をロボットが安全に走行するために注意すべきポイントを把握
- ✓リネン搬送など、より重量のある物品を搬送したいというニーズがあることを確認

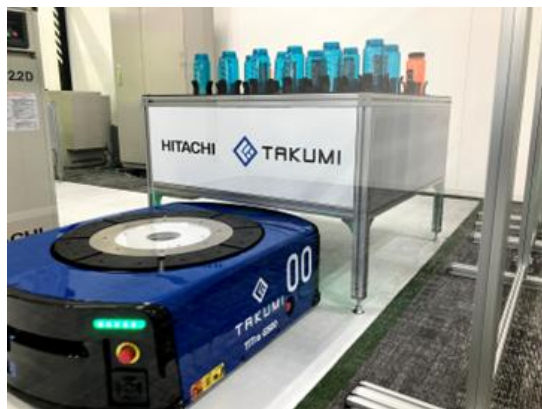


社会医療法人 弘恵会 ヨコクラ病院



REALIZE開発AMR「WILL-SR」

株式会社日立製作所 株式会社日立オートメーション



匠製
AGV「TiTra G500」

導入場所 株式会社日立製作所および株式会社日立オートメーション
導入内容 自動化・最適化の協創施設「Automation Square HANEDA」
自動化ラインの工程間搬送デモンストレーション
導入機体 株式会社匠製AGV「TiTra G500」※FIGグループ協業
目的 スマートな次世代ファクトリーデモンストレーションゾーン
における、未来型工場の体験

株式会社ヒロテック 大分工場



匠製
AGV「TiTra G1000」

導入場所 株式会社ヒロテック大分工場
導入内容 自動車部品製造工程における工程間搬送の自動化
導入機体 株式会社匠製AGV「TiTra G1000」※FIGグループ協業
目的 生産性向上および工場内物流の効率化



多様なラインナップでバス・鉄道事業者向け導入を拡大中

番号	経由	行先	出発まで
1	先発 [Z]	大分空港	あと 27分
のりば	次発 [K]	大分空港	あと 30分
2	先発 [AS70]	国東	あと 5分
のりば	次発 [148Q]	5号地	あと 11分
3番のりば 明野・パークプレイス方面			
3	先発 [E30]	パークプレイス	あと 7分
のりば	次発 [E70]	宮内ハイランド	あと 7分
3番のりば 元町・羽田・駅南方面			
3	先発 [F41]	元町	あと 23分
のりば	次発 [12]	古国府館	あと 29分
4	先発 [H73]	佐伯	あと 5分
のりば	次発 [J10]	畑中	あと 5分
5	先発 [K60]	富士見が丘	あと 7分
のりば	次発 [L28]	大寺蔵 (旧分館)	あと 14分
6	先発 [D20]	花高松	あと 2分
のりば	次発 [D81]	西郷	あと 3分
7	先発 [P23]	にじが丘・青葉台	あと 5分
のりば	次発	大分県庁前	あと 21分



iSIGNの4つの特徴



運行情報・広告
などを柔軟に配信可能



交通業界での豊富な導入実績



24時間のサポート体制
による安心運用



設置環境に応じた最適な製品ラインナップ

事業者のニーズに合わせたハードウェア



地上機型
サイネージ



スマート
バス停



吊り下げ型
サイネージ



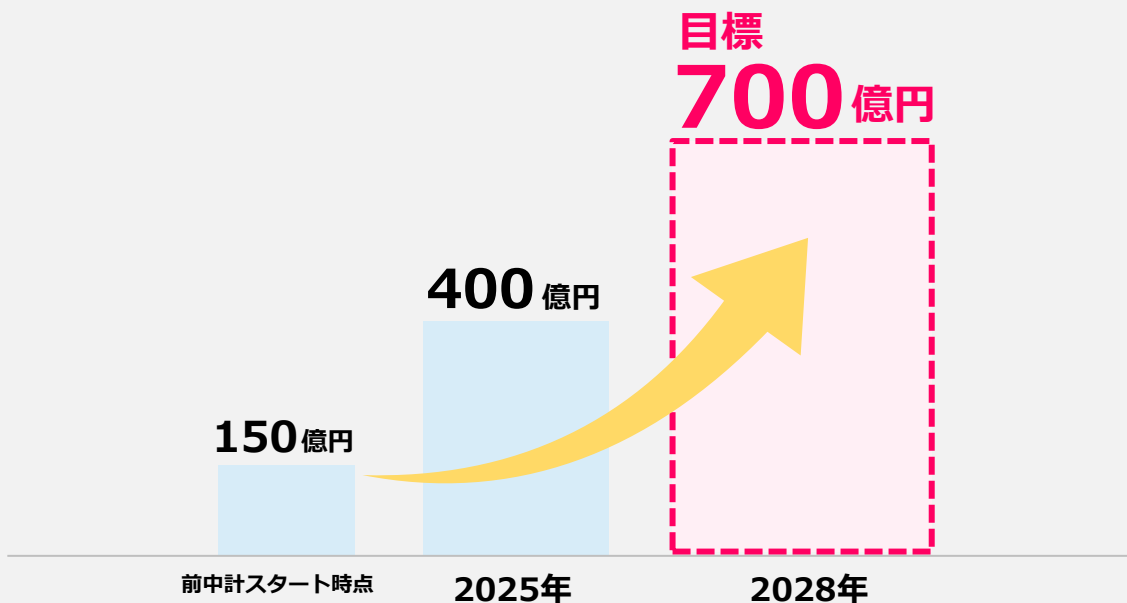
バス車内型
サイネージ

※写真はポータブルサイネージ

ペイメントの事業領域を拡大

公共交通で培ったペイメント基盤を起点に、自治体・ホテル・他業種へとサービス提供領域を拡大する。

目標：キャッシュレス取扱高



※キャッシュレス取扱高には、決済に加え、ICカードを活用した運賃精算額を含む。

市場環境

政府はキャッシュレス決済比率80%（2030年に65%）を目標に掲げており、市場は中長期的に拡大
2025年のキャッシュレス決済比率は、58.0%（国内指標）と堅調に上昇

※経済産業省ウェブサイトより一部抜粋

現在の取り組み案件



主力のタクシー決済は好調

新規導入・リプレイス案件ともに堅調に推移。
電子タクシーチケットなどの新サービス展開も推進中。



自治体導入は拡大中

自治体向け導入は順調に拡大。
製品ラインナップの拡充や機能強化、カード会社等との連携を推進。



バリューデザイン社との連携

独自Pay（ハウス電子マネー）との連携により、顧客基盤を拡大。
同社の全国約13万店舗に及ぶ導入実績を活用し、決済サービスの利用シーン拡張を推進。



ホテル市場の開拓に着手

ホテル管理システム（PMS）「ホテルスマート」で急成長中のエイジィ社との協業により、ホテル向け決済サービスの展開準備中。

バリューデザイン社と連携し**トヨタ生協**へ
独自Pay対応の決済端末「PT-751」を提供


主な特徴



PT-751

- ・独自Payでの支払いに対応
- ・専門店でも導入しやすいコンパクトかつ柔軟な設計
- ・施設全体での統一された決済環境の実現

※専門店にて専用電子マネーへのチャージはできません

愛知県豊田市を中心に
15店舗展開する  **トヨタ生協** へ

専門店を含む施設全体での
キャッシュレス決済環境の構築を支援



1つのSIMで**3**キャリア使える
マルチプロファイルSIM 対応のiMESH

新規導入



IM-530

IM-560

大手不動産会社
大手火災保険会社

マルチプロファイルSIM対応プランの特徴



シングルSIM対応



3つのキャリア回線確保、
通信異常時自動切替

通信障害時に
繋がるキャリア回線へ



- 【 連絡先 】 F I G株式会社 経営企画本部
- 【 住所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号
- 【 T E L 】 097 - 576 - 8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。
これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。